



報道関係者各位

2020年5月13日

ラスベガス・サンズ 日本市場への参入見送り 会長兼 CEO シェルドン・G・アデルソンは会社の成長性に変わらぬ自信

ラスベガス・サンズ（本社：米国ネバダ州ラスベガス/NYSE:LVSC）は、本日、日本における統合型リゾート開発（以下、IR）の機会を追求しないことを明らかにしました。

「日本文化および日本の観光目的地としての魅力への興味は、私がコンピュータ関連の展示会 COMDEX を日本で運営していた 30 年以上前に遡り、それ以降、いつも日本における事業展開の機会を探していました。私の個人的な日本への好意的な気持ちは何ら変わりませんし、統合型リゾート施設開発によって日本はビジネス及びレジャー観光市場からの恩恵を享受するであろうとも思います。しかし、日本における IR 開発の枠組みでは私たちの目標達成は困難であると思われる。これまで日本市場参入の検討をしてきた中で様々な方々に出会い、良い関係を構築できたことに感謝しています。私たちは今後、日本以外での成長機会に注力する予定です。」と会長兼 CEO シェルドン・G・アデルソンは述べました。

「私は会社の将来と成長の見通しについて非常に強気であり続けます。IR 業界の主要市場で最高クラスの施設を運営している当社は、現在、マカオとシンガポールで非常に大きな投資プログラムを実行し、既存のポートフォリオから有機的な成長を新たに生み出そうとしています。また、ラスベガス、マカオ、そしてシンガポールで当社が先駆者として開発して成長を遂げた MICE を中心とする統合型リゾートモデルは、アジア諸国が経済成長の原動力としてビジネス及びレジャー観光産業を強化することを検討する場合、今後もベストプラクティスとして参考にされると考えています。」と続けました。

###

ラスベガス・サンズ

ラスベガス・サンズ（NYSE：[LVSC](#)）は、ワールドクラスの統合型リゾートを開発及び運営している企業です。高級ホテル、最高クラスのカジノ、ショッピング、レストランやエンターテインメント、MICE（企業等の会議[ミーティング]、企業等の行う報奨・研修旅行[インセンティブ旅行]、国際機関・団体や学会等が行う国際会議[コンベンション]、展示会・見本市やイベント[エキシビション/イベント]）、その他多くのビジネス・レジャー施設を特長としています。ラスベガス・サンズは、ビジネス市場、観光・レジャー旅行市場のいずれでも業界をリードし、ユニークで大きな成功を遂げたモデルである MICE を中心とする統合型リゾートを初めて開発しました。

当社の施設には、米国・ラスベガスにおける[ザ・ベネチアン](#)、[ザ・パラッツォ](#)、[サンズ・エキスポ](#)、そして象徴的なシンガポールの[マリーナベイ・サンズ](#)があります。また、[サンズ・チャイナ・リミテッド](#)の過半数の所有権を保有することで、ラスベガス・サンズは、マカオ半島における[サンズ・マカオ](#)のみならず、[ザ・ベネチアン・マカオ](#)、[ザ・プラザ／フォーシーズンズ・マカオ](#)、[サンズ・コタイ・セントラル](#)、[ザ・パリジャン・マカオ](#)をはじめとするコタイ・ストリップにおける施設のポートフォリオを所有しています。

またラスベガス・サンズは、常に良き企業市民であるよう努め、世界中で働く 5 万人以上の従業員に素晴らしい職場環境を提供すること、サンズ・ケアという企業の寄付プログラムを通じて社会的インパクトをもたらすこと、そして受賞歴もあるグローバル・サ

ステナビリティ・プログラムである[サンズ・エコ 360°](https://www.sands.com)とともにイノベーションを起こすことに全力を尽くしています。詳細はwww.sands.comにてご覧ください。

お問い合わせ窓口

queryasia@marinabaysands.com web: Sandsjapan.com